

名称	爆薬理学試験室
建築年代	昭和 9 年（1934）から昭和 12 年の間
構造	鉄筋コンクリート造平屋建、地下 1 階建
用途	火薬研究所で、特に爆薬に関する実験が行われた施設
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・建物北側には庇が 4 ヶ所設置されており、現在は壁になっている 2 ヶ所も含めて、庇が残る部分は出入口だった可能性がある。 ・建物南側にはバルコニーが設置されている。現在 1 階からバルコニー方向への出入口はないが、従来は出入口があった可能性がある。火薬を扱う軍事施設は、各部屋を独立させる仕様が多いため、この建物も同様の仕様だったと考えられる。 ・地下 1 階は天井が低く、石神井川に面して地面が意図的に掘り込まれている。南側に「仮置場」が面していることから、爆薬理学試験室での実験に使用する荷物を一時的に置く施設だったと考えられる。

